

令和2年度 能見台地区センター 事業計画書

1 基本的方針

地域住民の自主的な活動や相互交流の促進のため、能見台地区センターが楽しい「居場所」であり、誰もが「つながり」を実感できる場として提供できるよう運営してまいります。

- ① 地域の連携とコミュニティの形成に貢献し、地域のつながりづくりの役割を果たします。
- ② 最良のサービスを提供するため、地域や利用者の声に耳を傾け、絶えず改善に努めます。
- ③ 公共施設としての使命と社会的責任を自覚し、徹底したコンプライアンスによる経営を行います。
- ④ 金沢区民協働支援協会が管理する全 13 施設間のネットワークを活かして、効率的かつ創意工夫に基づく効果的な運営を行います。
- ⑤ 円滑な事業の推進のため、働きやすい職場環境の確保と人材の育成に取り組みます。

2 施設運営体制

職 種		人数	雇 用	業 務 内 容 等
館 長		1	常 勤 員	運営管理の総括責任者
副 館 長		1		館長の補助、庶務・経理・事業等の責任者
事務スタッフ		3	時 給 員	館長・副館長業務補佐、部屋予約業務、自主事業の企画・運営、図書の企画・運営、広報・経理、庶務業務補助
受付スタッフ	午前	4		利用の受付、図書の貸出・返納整理、施設の管理・清掃、自主事業等の実施補助、用具の貸出・管理
	午後	4		
	夜間	4		

3 運営方針

① 公の施設としての管理

公平かつ適正な利用上のルールやマナーを周知し、また理解を得、利用者の信頼を得てまいります。また、接遇、人権などの研修の実施による接遇の公平性を確保します。

② 利用者ニーズの把握と運営への反映

地域及び利用者団体等から構成される「地区センター委員会」、「利用者懇談会」や「ご意見箱」、利用者からの直接のご意見や自主事業、イベントからのアンケート等、さまざまな方法により利用者のニーズを把握し、運営に反映します。

③ 安全対策

事故・火災・気象災害・地震・不審者・盗難等事件を想定した「事故・災害発生時の緊急対応マニュアル」に沿った対処と、消防法令に基づく管理計画を遵守します。また、全職員を対象とした AED の習熟訓練を年 1 回行います。

4 令和 2 年度の事業運営

① 自主事業

地区センターの設置目的を効果的に実施する取組に加え、地域特性から、「高齢者の生きがい」「健康づくり」「子育て支援」が求められており、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の参加ができるような事業を企画します。

② 図書コーナーの貸出蔵書の充実とサービスの向上

幼児から高齢者まで楽しめる図書の充実、時宜にかなったテーマの本の特設コーナーへの配架、特設コーナー専用棚の活用等により、サービスの一層の向上を図ります。

③ 予約システムの運用

インターネットによる予約システムを的確に運用することにより、施設利用の利便性の向上を図ります。

④ 「横浜市節電・省エネ対策基本方針」に基づく管理計画

省エネ法に基づく「管理標準」の運用を通し、エネルギー使用量・使用料金を毎月管理評価することにより、コスト削減と低炭素社会に向けた取組みを継続します。

5 職員育成

① 施設間の情報共有と課題解決

13施設間の館長会議で運営上の課題を論議し、共通認識をもって業務改善策を検討します。副館長会議では、自主事業の意見交換、インターネット予約システムの運用に関する意見などから課題を整理し、より良い運営に反映させます。

② 個人情報保護の徹底

個人情報の取扱いに関しては、特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会（以下「支援協会」）個人情報の取扱いに関する規程、支援協会の保有する情報の公開に関する規程、支援協会の保有する個人データの開示等の請求に関する規程その他個人情報関連法令を遵守し、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報の適切な管理に努めてまいります。予約システムの運用に伴うリスクへの備えを含め、個人情報取扱事業者としての責務を果たすため、個人情報取扱マニュアルと個人情報取扱チェックリストによる研修と実行を徹底します。

③ OJT研修によるスキルアップ

苦情対応マニュアルによる接客研修をはじめ各種実務研修を実施するとともに、ベテラン職員の実務経験の継承を通じて、職員一人ひとりの知識と行動力を高めるとともに、職員全体で取り組む組織風土を醸成し、現場対応力を向上します。

令和2年度 「能見台地区センター」 収支予算書兼決算書
(2020. 4. 1~2021. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	36,797,000		36,797,000		36,797,000	横浜市より
利用料金収入	4,858,000		4,858,000		4,858,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	6,140,000		6,140,000		6,140,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	1,399,000	0	1,399,000	0	1,399,000	
印刷代	500,000		500,000		500,000	
自動販売機手数料	669,000		669,000		669,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	230,000		230,000		230,000	カラオケ利用料他
収入合計	49,194,000	0	49,194,000	0	49,194,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,316,000	0	21,316,000	0	21,316,000	
給与・賃金	19,890,000		19,890,000		19,890,000	館長・副館長及び時給職員15名
社会保険料	1,230,000		1,230,000		1,230,000	
通勤手当	181,000		181,000		181,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	15,000		15,000		15,000	常勤職員
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	3,082,000	0	3,082,000	0	3,082,000	
旅費	14,000		14,000		14,000	出張旅費
消耗品費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	事務消耗品費
会議贈い費	6,000		6,000		6,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	250,000		250,000		250,000	インターネット・電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	14,000	0	14,000	0	14,000	
横浜市への支払分	0		0		0	目的外使用料等
その他	14,000		14,000		14,000	(リース経費等) NHK受信料
備品購入費	120,000		120,000		120,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	64,000		64,000		64,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	264,000		264,000		264,000	
手数料	300,000		300,000		300,000	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	4,655,000	0	4,655,000	0	4,655,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	4,655,000		4,655,000		4,655,000	
自主事業費			0		0	イベントの実施
管理費	15,194,000	0	15,194,000	0	15,194,000	
光熱水費	7,700,000	0	7,700,000	0	7,700,000	
電気料金	3,400,000		3,400,000		3,400,000	
ガス料金	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
水道料金	2,300,000		2,300,000		2,300,000	
清掃費	2,500,000		2,500,000		2,500,000	日常・定期清掃費
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
機械警備費	507,000		507,000		507,000	
設備保全費	2,483,000	0	2,483,000	0	2,483,000	
空調衛生設備保守	1,243,000		1,243,000		1,243,000	
消防設備保守	131,000		131,000		131,000	
電気設備保守	511,000		511,000		511,000	
害虫駆除清掃保守	98,000		98,000		98,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	500,000		500,000		500,000	(ピアノ、音響、コピー機保守費)
共益費	4,000		4,000		4,000	諸費
公租公課	1,942,000	0	1,942,000	0	1,942,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,935,000		1,935,000		1,935,000	
印紙税	0		0		0	
その他（法人税）	7,000		7,000		7,000	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,385,000	0	1,385,000	0	1,385,000	
本部分	1,385,000		1,385,000		1,385,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一ス対応費	1,620,000	0	1,620,000	0	1,620,000	
支出合計	49,194,000	0	49,194,000	0	49,194,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

令和2年度 能見台地区センター 自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
運営方針	事業計画書3 ① 公の施設としての管理 施設の利用方法の透明性を明確化し、公平性を確保します。			
	② 利用者ニーズの把握と運営への反映 利用者アンケートや利用者懇談会、ご意見箱、自主事業・イベント参加者アンケートなどから利用者ニーズを把握し、運営に反映させます。			
	③安全対策 「事故・災害発生時の緊急対応マニュアル」に沿った対処と、消防法令に基づく管理計画を遵守します。また、新型コロナウイルス感染症防止のための対策を徹底します。			
	【数値目標】 利用者満足度：前年度の93.3%と同水準を維持すること。			
事業運営	事業計画書4 ①自主事業 講師陣との信頼関係に基づく事業を充実・発展するとともに、地域住民に支持される新しい分野の自主事業を展開していきます。			
	②図書コーナーの貸出蔵書の充実とサービスの向上 幼児から高齢者まで楽しめる図書の充実と時宜にかなったテーマの本の特設コーナーへの配架や特設コーナー専用棚の活用等により、サービスの一層の向上を図ります。			

	<p>③ 予約システムの運用 予約システムの的確な運用を行い、施設利用の利便性の向上を図ります。</p>			
	<p>④ 「横浜市節電・省エネ対策基本方針」に基づく管理 省エネ法に基づく「管理標準」の運用を通し、エネルギー使用量・使用料金を毎月管理・評価することにより、コスト削減と低炭素社会に向けた取組みを継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電対策を主目的として、夏季の使用最大電力の削減（ピークカット）に取り組めます。 ・ 温暖化対策の推進のため、年間を通した使用電力量の削減に取り組めます。 			
	<p>【数値目標】 自主事業収入：開館月数分の前年度比±0（新型コロナウイルスの影響が不明のため。）</p>			
	<p>【数値目標】 貸出冊数：開館月数分の前年度比±0（新型コロナウイルスの影響が不明のため。）</p>			
	<p>【数値目標】 団体利用部屋の稼働率：開館月数分の前年度比±0（新型コロナウイルスの影響が不明のため。）</p>			
	<p>【数値目標】 最大需要電力：前年度比1%減 年間電力使用量：開館月数分の前年度比1%減</p>			
職員育成	<p>事業計画書5</p> <p>② 個人情報保護の徹底 予約システムの運用に伴うリスクへの備えを含め、個人情報取扱事業者としての責務を果たすため、個人情報取扱マニュアルと個人情報取扱チェックリストによる研修と実行を徹底します。</p>			
	<p>③ OJT研修によりスキルアップを効果的に図ります。</p>			

	<p>【数値目標】個人情報の取扱い事故ゼロ</p> <p>【数値目標】業務対応苦情件数：年間10件以下</p>			
財務	事業計画書に記載なし			
	<p>1 施設の維持管理計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法第12条点検による報告以外にも、日常点検や委託業者による点検結果について「施設管理者点検マニュアル」に基づき、支援協会事務局及び区役所に報告の上十分に協議し、建築局の技術支援を受けるなどのほか、適切な修理・保全措置を講じます。 ・施設管理上の修理保全コストが増加するなかでエネルギーコストの削減に向けて、組織全体で計画的に検討していきます。 			
	<p>2 収支計画</p> <p>自主事業収入に加え、利用者の増加による利用料収入+雑収入の増加を図ります。また、費用対効果を常に意識し、経費削減に取り組めます。</p>			
	<p>【数値目標】管理費（修繕費を除く）：開館月数分の前年度比±0（新型コロナウイルスの影響が不明のため。）</p> <p>【数値目標】利用料金収入：開館月数分の前年度比±0（新型コロナウイルスの影響が不明のため。）</p>			
利用者等の意見	利用者から寄せられた意見・要望	今後の取組		

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載